

# 18歳意識調査 「第19回 - メディア -」詳細版

---

日本財団 2019年10月29日

# 目次

調査概要	3
情報の必要性	5
生活で必要とする情報	6
情報源	7
情報源イメージ	8
利用しているSNS	17
SNSで見た情報の真偽を確かめたことがあるか	18
SNSで見た情報の真偽を確かめた方法	19
SNSで見た情報の真偽を確かめなかった理由	20
インターネット上の情報を虚偽だと感じたことがあるか	21
真偽を確かめずに情報を拡散したことがあるか	22
真偽を確かめずに情報を拡散した理由	23
フェイクニュースに対する法整備は必要か	24
フェイクニュースに対する法整備について回答理由	25

# 調査概要「18歳意識調査」 -メディア-

**調査対象** 全国の17歳～19歳男女

**回答数** 1000  
※下記の割付にて回収

	17歳	18歳	19歳	計
男性	166	167	167	500
女性	166	167	167	500
計	332	334	334	1000

**調査除外** 下記の関係者は調査から除外  
印刷業・出版業/マスコミ・メディア関連/  
情報提供サービス・調査業/広告業

**実施期間** 2019年9月13日（金）～9月17日（火）

**調査手法** インターネット調査

※注記：本編の図表の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

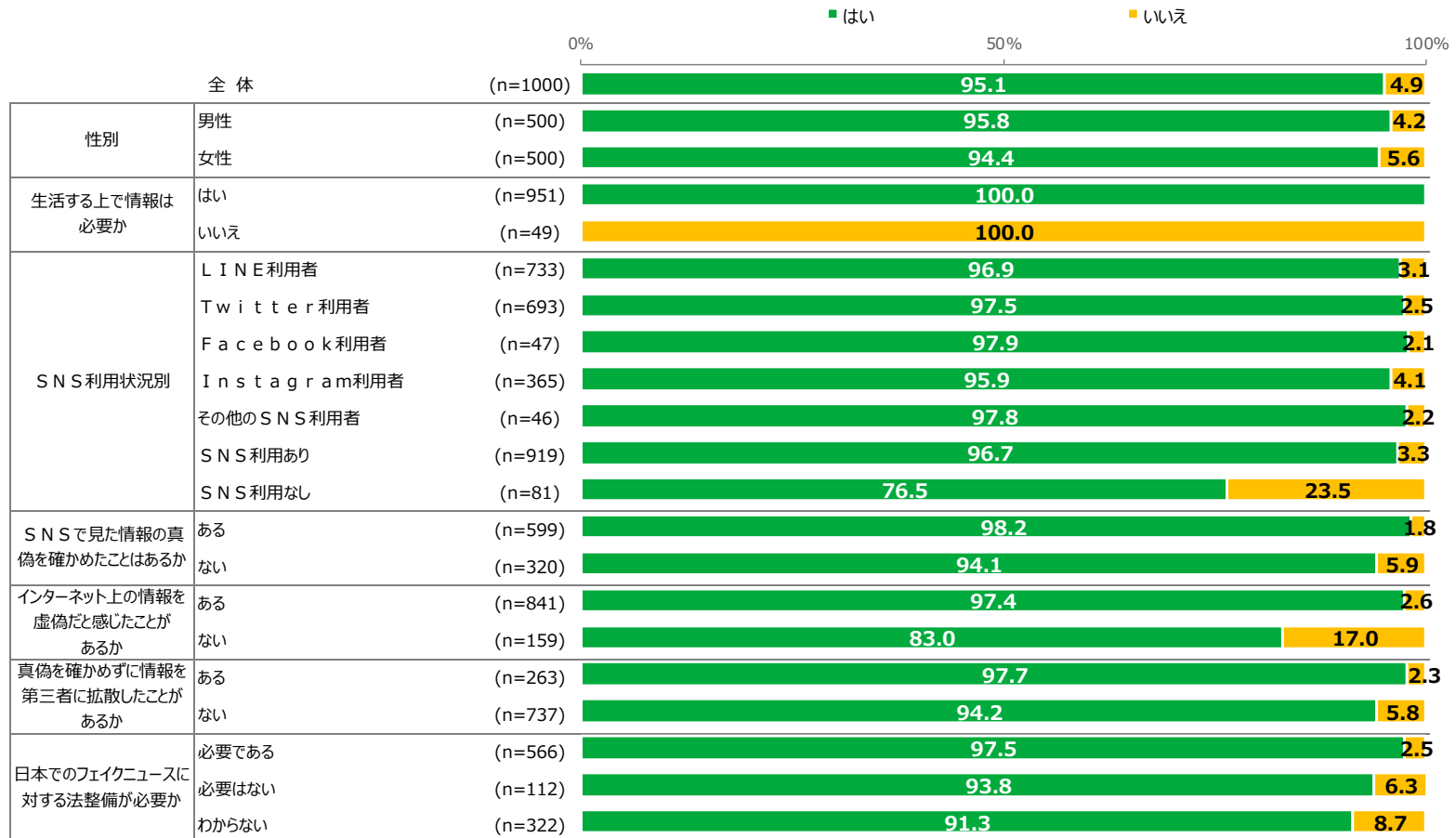
# 詳細

---

# 情報の必要性

- ほとんどの人が、生活する上で情報は必要と回答。
- SNS非利用者は、「いいえ」=必要ではないとの回答が23.5%と多い。

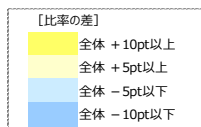
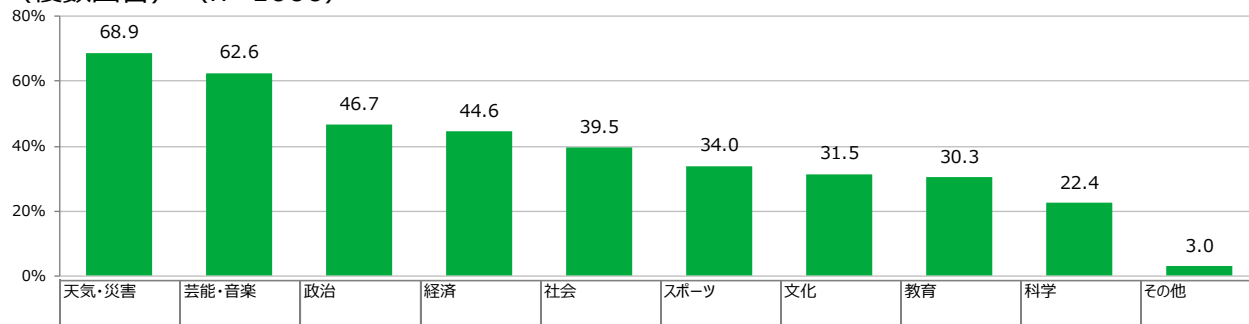
Q あなたが生活する上で情報は必要ですか。(n=1000)



# 生活で必要とする情報

- 必要な情報は、「天気・災害」(68.9%)がトップ。次いで、「芸能・音楽」(62.6%)、「政治」(46.7%)と続く。
- 女性では「芸能・音楽」がトップとなり、男性と差が見られた。
- SNSで情報の真偽を確かめたことがある層は、ない層に比べて「政治」(54.3%)が高く、より「政治」に関心が高い層であることがわかる。また、フェイクニュースに対する法整備が必要と考えている層も、「政治」「経済」「社会」への関心が高め。

Q どのような情報が必要ですか。(複数回答) (n=1000)

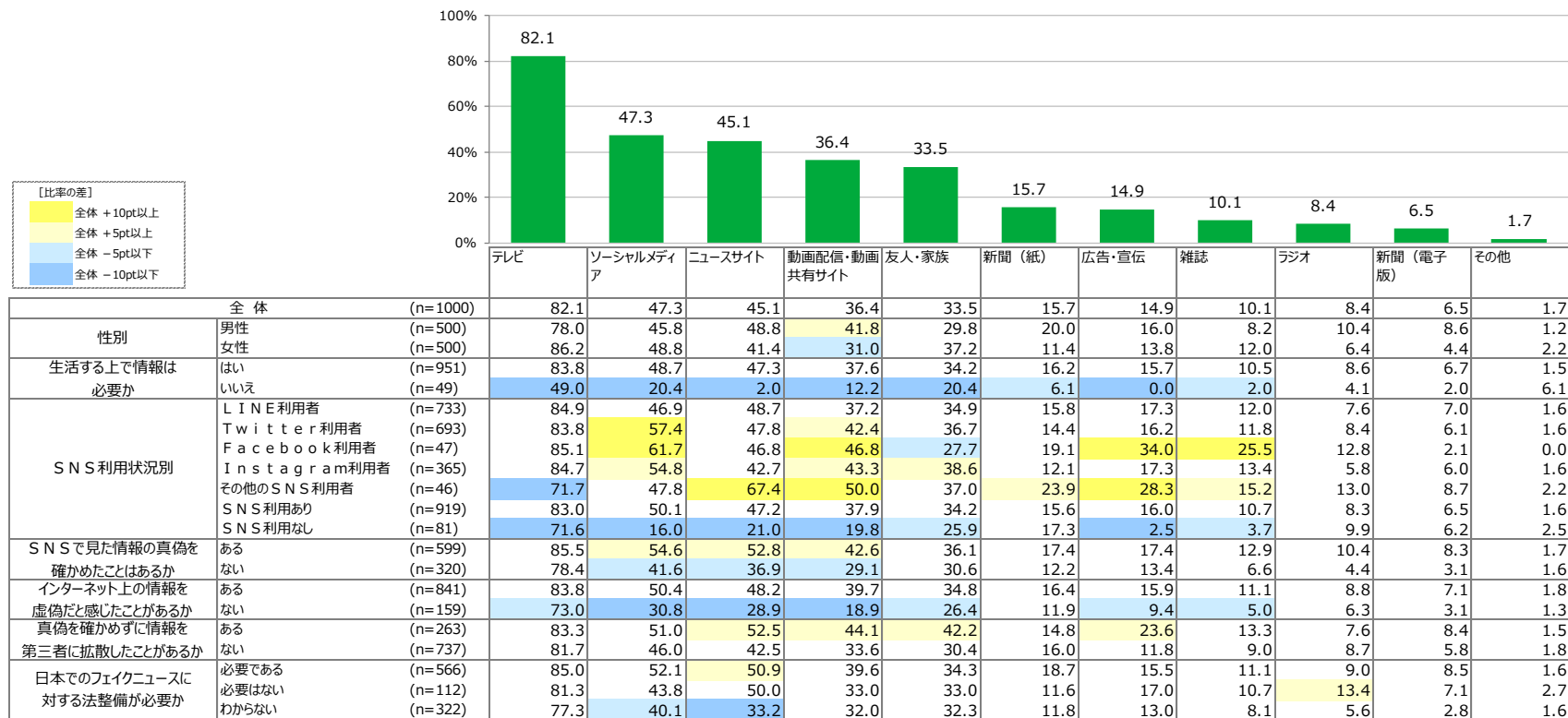


		全体 (n=1000)	天気・災害	芸能・音楽	政治	経済	社会	スポーツ	文化	教育	科学	その他
全 体		(n=1000)	68.9	62.6	46.7	44.6	39.5	34.0	31.5	30.3	22.4	3.0
性別	男性	(n=500)	67.4	50.6	54.8	53.2	43.2	48.0	29.8	29.6	32.2	3.6
	女性	(n=500)	70.4	74.6	38.6	36.0	35.8	20.0	33.2	31.0	12.6	2.4
生活する上で情報は必要か	はい	(n=951)	70.9	64.4	48.8	46.4	41.0	35.0	32.8	31.7	22.7	2.6
	いいえ	(n=49)	30.6	28.6	6.1	10.2	10.2	14.3	6.1	4.1	16.3	10.2
SNS利用状況別	LINE利用者	(n=733)	69.8	66.6	48.0	45.7	40.0	37.0	32.5	32.3	20.5	2.3
	Twitter利用者	(n=693)	73.6	68.5	49.2	47.0	40.8	34.8	33.9	30.4	20.9	3.0
	Facebook利用者	(n=47)	63.8	63.8	55.3	42.6	46.8	40.4	42.6	31.9	25.5	0.0
	Instagram利用者	(n=365)	67.7	74.2	44.4	45.2	39.5	41.1	31.5	29.3	17.8	2.7
	その他のSNS利用者	(n=46)	71.7	67.4	52.2	52.2	52.2	39.1	45.7	30.4	28.3	4.3
	SNS利用あり	(n=919)	70.0	65.7	47.7	45.5	40.3	35.7	32.6	30.9	21.1	2.7
	SNS利用なし	(n=81)	56.8	27.2	35.8	34.6	30.9	14.8	18.5	23.5	37.0	6.2
SNSで見た情報の真偽を確かめたことはあるか	ある	(n=599)	72.8	66.4	54.3	49.1	42.1	38.7	37.4	32.9	24.9	3.2
	ない	(n=320)	64.7	64.4	35.3	38.8	36.9	30.0	23.8	27.2	14.1	1.9
インターネット上の情報を虚偽だと感じたことがあるか	ある	(n=841)	71.2	64.8	49.6	47.0	42.1	35.0	35.1	31.6	23.5	3.0
	ない	(n=159)	56.6	50.9	31.4	32.1	25.8	28.9	12.6	23.3	16.4	3.1
真偽を確かめずに情報を第三者に拡散したことがあるか	ある	(n=263)	71.5	65.4	51.3	47.1	39.2	38.4	34.6	32.7	22.1	2.3
	ない	(n=737)	68.0	61.6	45.0	43.7	39.6	32.4	30.4	29.4	22.5	3.3
日本でのフェイクニュースに対する法整備が必要か	必要である	(n=566)	76.7	64.3	54.4	51.4	45.1	36.4	36.0	33.9	24.9	3.0
	必要はない	(n=112)	52.7	57.1	52.7	42.9	38.4	36.6	28.6	33.0	27.7	1.8
	わからない	(n=322)	60.9	61.5	31.1	33.2	30.1	28.9	24.5	23.0	16.1	3.4

# 情報源

- 「テレビ」が82.1%で、2位以下に大差をつけてトップ。
- 次に「ソーシャルメディア」（47.3%）、「ニュースサイト」（45.1%）などが上位にあがる。
- 男女別で差が見られたのは「動画配信・動画共有サイト」で、男性が41.8%、女性は31.0%と男性の方が情報源として利用している人が多い。

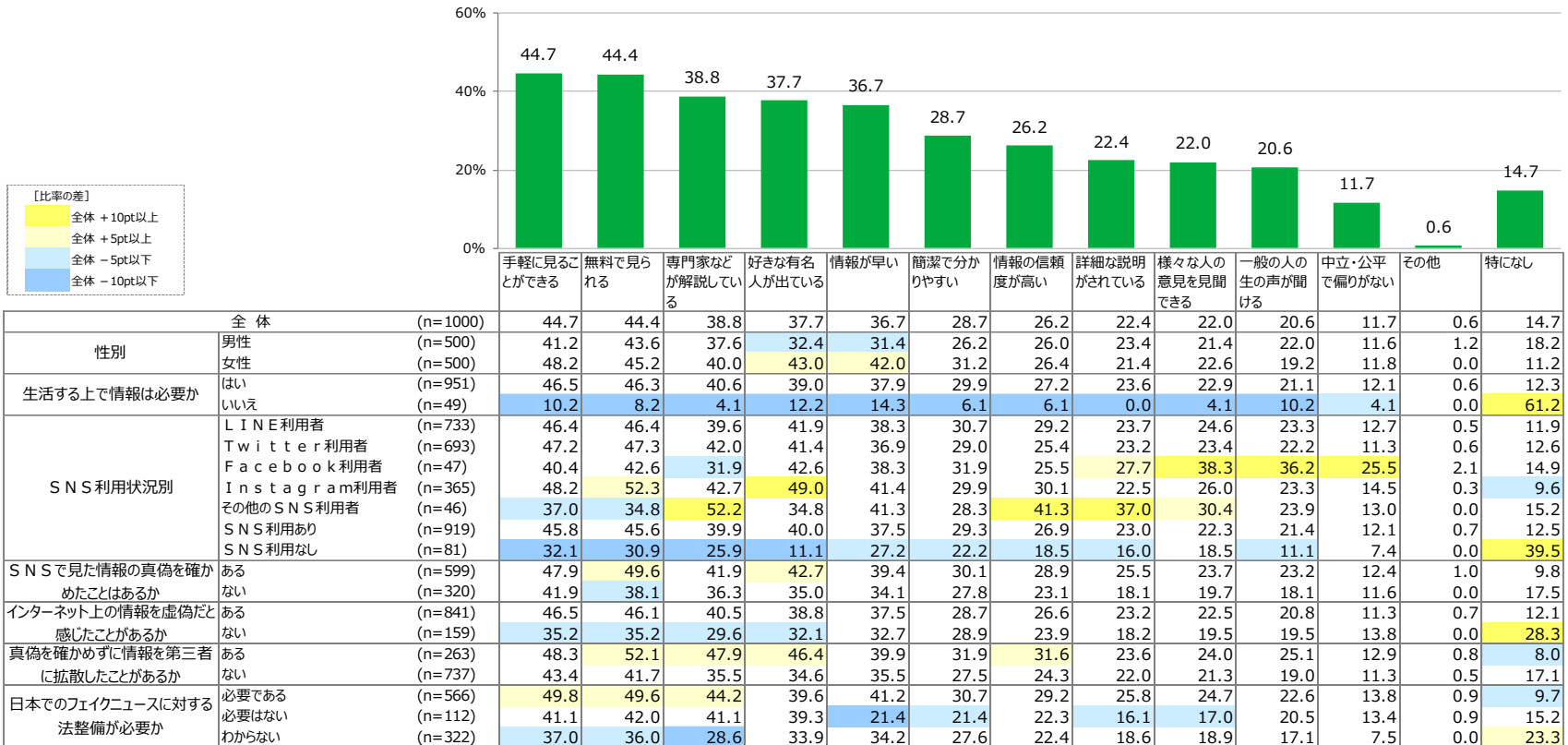
Q あなたは必要な情報を何から得ていますか。あてはまるものを全て選んでください。（複数回答）（n=1000）



# 情報源イメージ/テレビ

- 「手軽に見ることができる」(44.7%)、「無料で見られる」(44.4%)というイメージが高い。
- 次いで、「専門家などが解説している」(38.8%)、「好きな有名人が出ている」(37.7%)、「情報が早い」(36.7%)が上位にあがる。
- 生活する上で情報は必要ないと回答した層やSNS非利用者など、情報感度が低い層は全体的にスコアが低く、テレビに対して具体的なイメージを持っていない人が多い。

Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。(それぞれ複数回答) (n=1000)

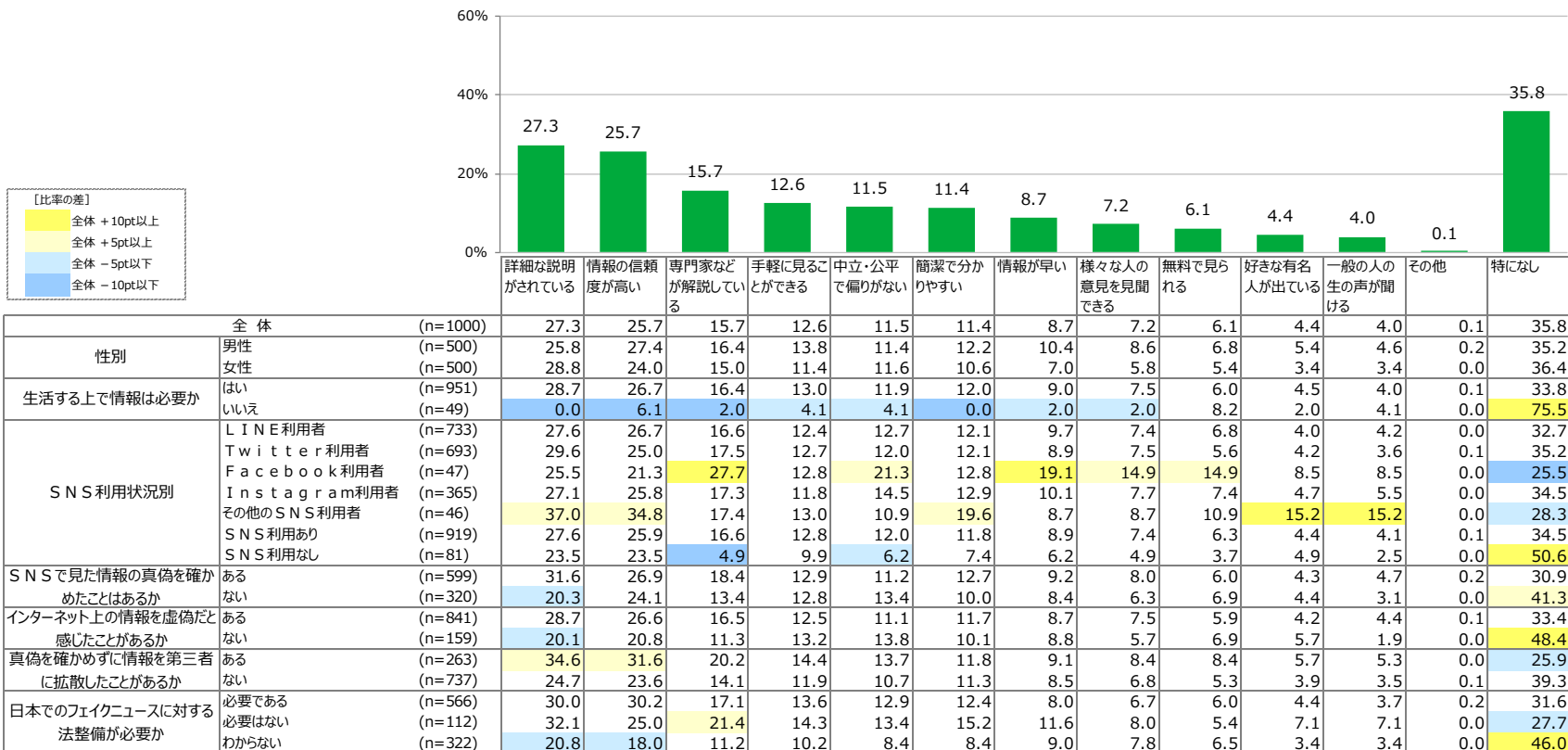




# 情報源イメージ／新聞

- 「詳細な説明がされている」(27.3%)と「情報の信頼度が高い」(25.7%)というイメージが相対的に高い。
- 次いで、「専門家などが解説している」(15.7%)、「手軽に見ることができる」(12.6%)、「中立・公平で偏りが無い」(11.5%)と続く。
- 生活する上で情報は必要ないと回答した層やSNS非利用者など、情報感度が低い層は全体的にスコアが低く、テレビと同様、新聞に対しても具体的なイメージを持っていない人が多い。

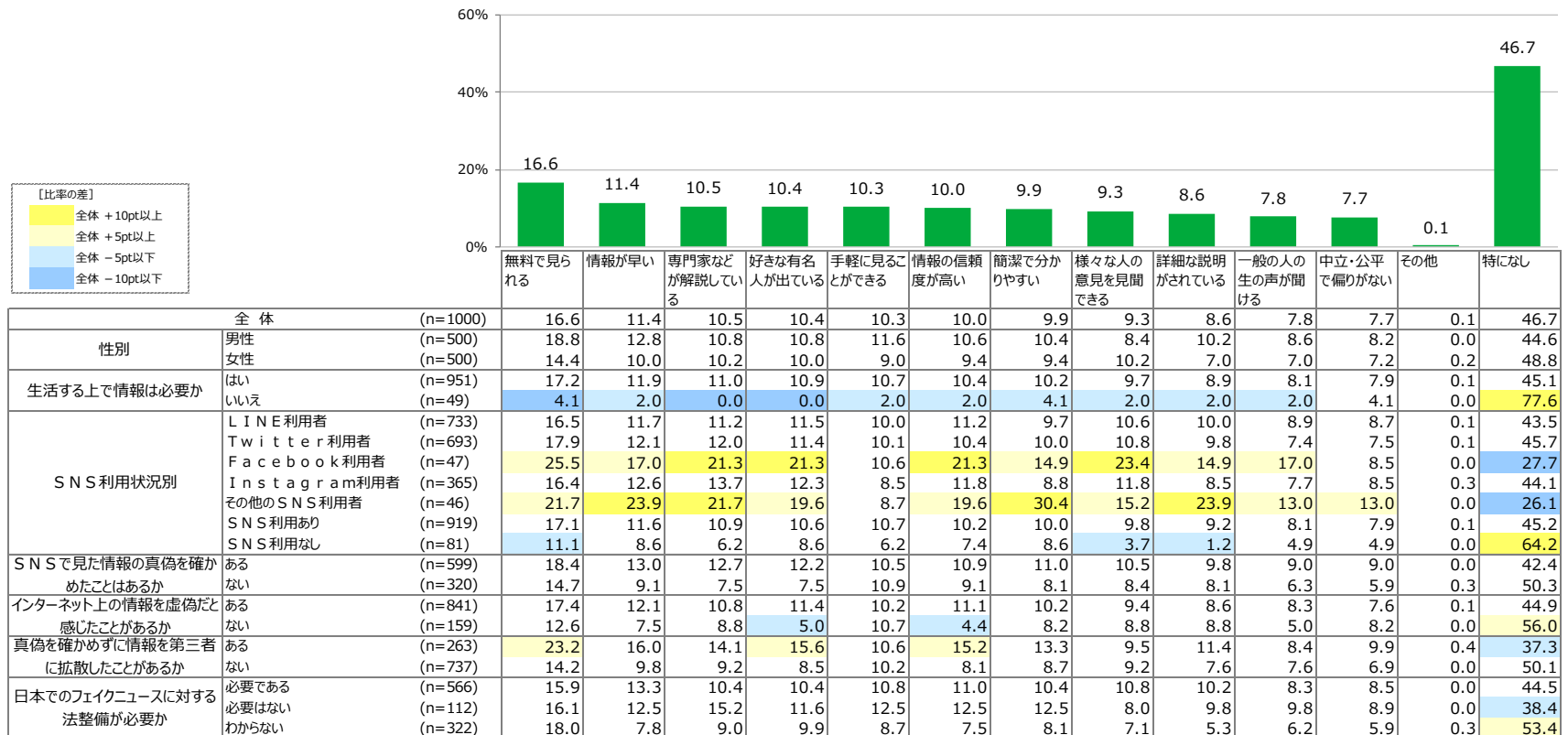
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。(それぞれ複数回答) (n=1000)



# 情報源イメージ／ラジオ

- 「特になし」が46.7%と、約半数がラジオに対して特にイメージを持っていない。
- 持たれているイメージの中では、「無料で見られる」（16.6%）が最も高く、次いで「情報が早い」（11.4%）、「専門家などが解説している」（10.5%）、「好きな有名人が出ている」（10.4%）、「手軽に見ることができる」（10.3%）と続く。

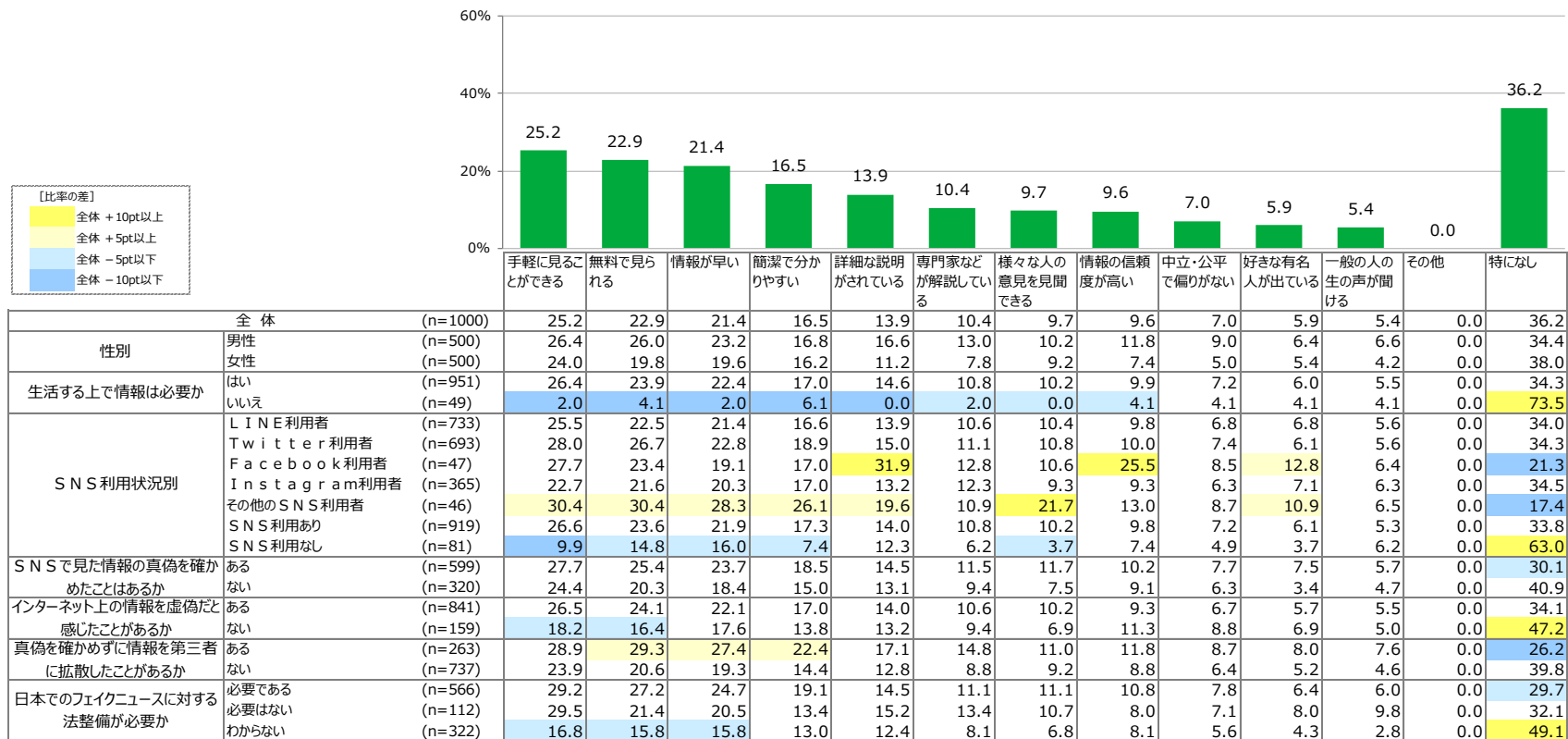
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。（それぞれ複数回答）（n=1000）



# 情報源イメージ／ニュースサイト

- 「手軽に見ることができる」(25.2%) が最も高いイメージ。
- 次いで「無料で見られる」(22.9%)、「情報が早い」(21.4%)、「簡潔で分かりやすい」(16.5%)、「詳細な説明がされている」(13.9%) が上位にあがる。
- 生活する上で情報は必要ないと回答した層やSNS非利用者など、情報感度が低い層は全体的にスコアが低く、先述の情報源と同様、ニュースサイトに対しても具体的なイメージを持っていない人が多い。

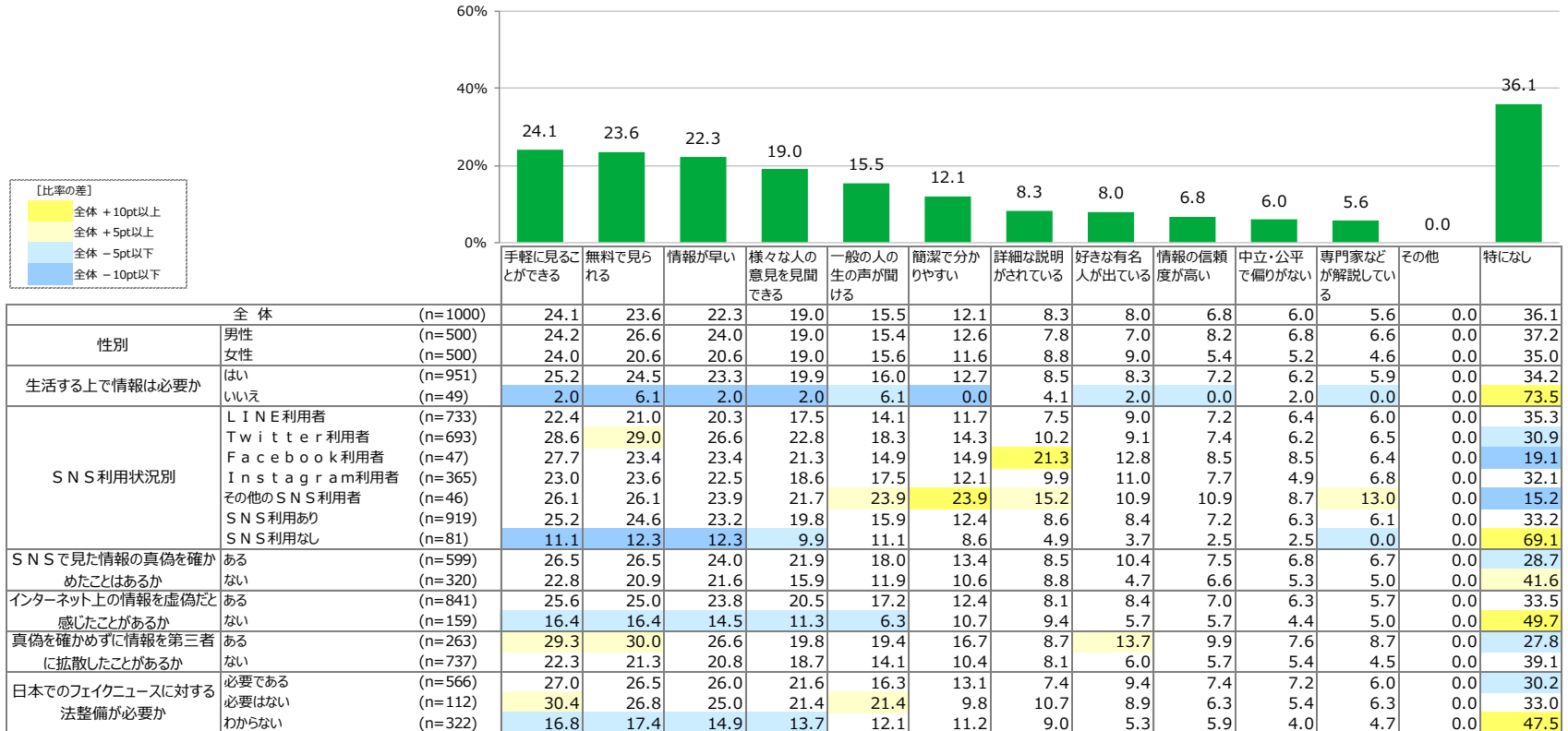
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。(それぞれ複数回答) (n=1000)



# 情報源イメージ/ソーシャルメディア

- 「手軽に見ることができる」(24.1%)、「無料で見られる」(23.6%)が高いイメージ。
- 次いで「情報が早い」(22.3%)、「様々な人の意見を見聞できる」(19.0%)、「一般の人の生の声が聞ける」(15.5%)と続く。
- 生活する上で情報は必要ないと回答した層やSNS非利用者など、情報感が低い層は全体的にスコアが低く、先述の情報源と同様、ソーシャルメディアに対しても具体的なイメージを持っていない人が多い。

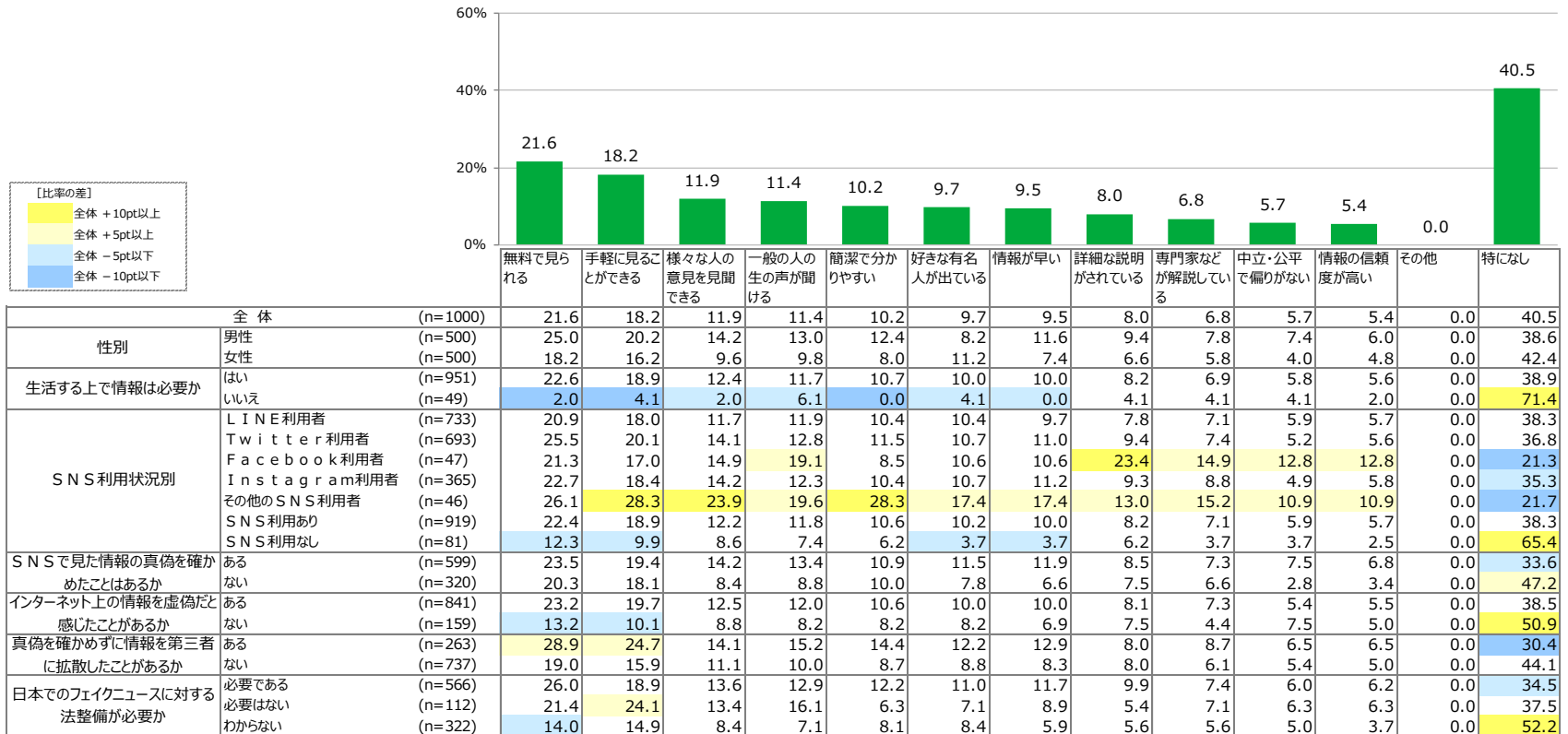
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。(それぞれ複数回答) (n=1000)



# 情報源イメージ／動画配信・動画共有サイト

- ・ ソーシャルメディアと同様、「無料で見られる」(21.6%)、「手軽に見ることができる」(18.2%)というイメージが高い。次いで「様々な人の意見を見聞できる」(11.9%)、「一般の人の生の声が聞ける」(11.4%)、「簡潔で分かりやすい」(10.2%)が上位にあがる。
- ・ 生活する上で情報は必要ないと回答した層やSNS非利用者など、情報感度が低い層は全体的にスコアが低く、先述の情報源と同様、動画配信・動画共有サイトに対しても具体的なイメージを持っていない人が多い。

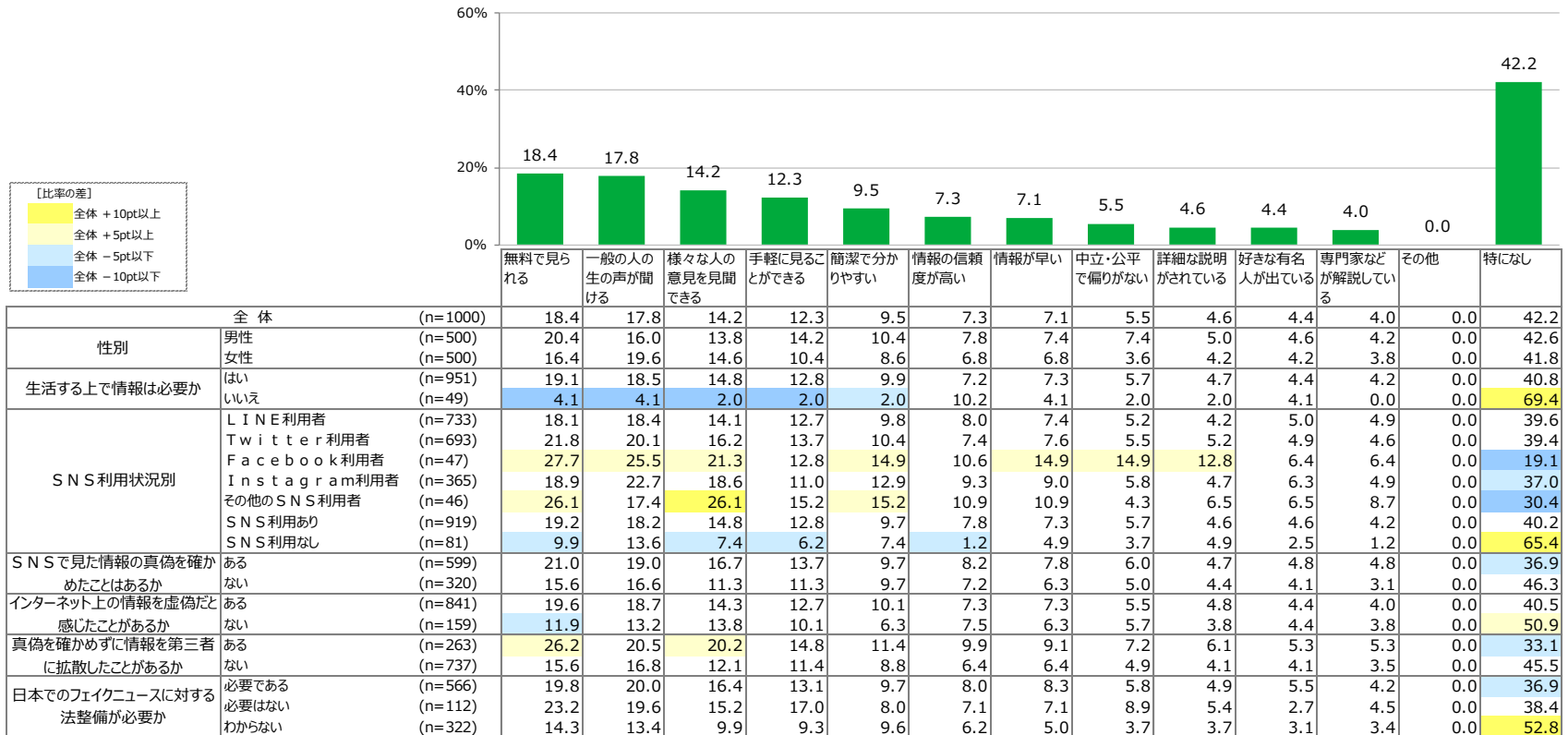
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。(それぞれ複数回答) (n=1000)



# 情報源イメージ／友人・家族

- 「無料で見られる」（18.4%）、「一般の人の生の声が聞ける」（17.8%）というイメージが相対的に高い。
- 次いで「様々な人の意見を見聞できる」（14.2%）、「手軽に見ることができる」（12.3%）、「簡潔で分かりやすい」（9.5%）が上位にあがる。

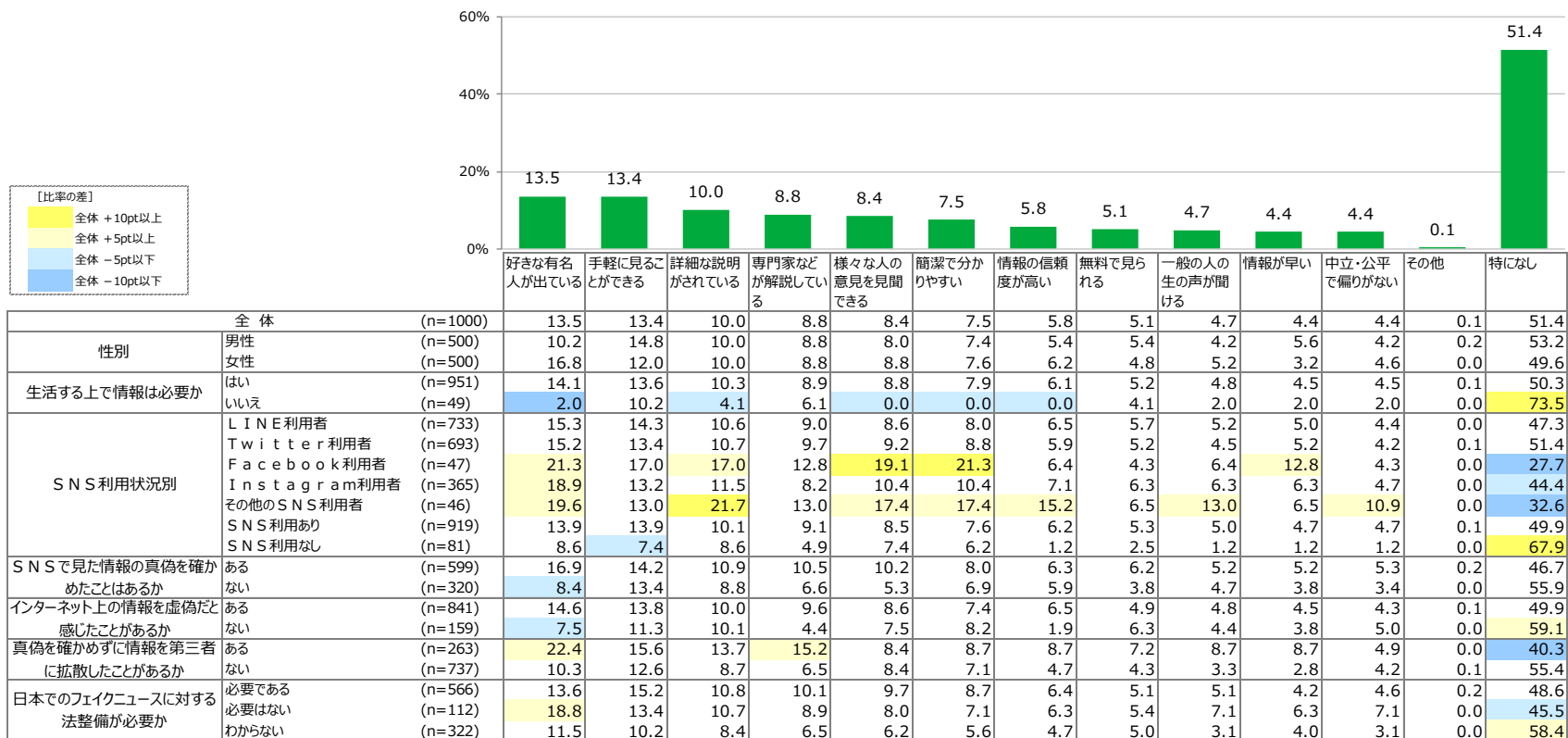
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。（それぞれ複数回答）（n=1000）



# 情報源イメージ／雑誌

- 過半数が「特になし」と回答。
- 持たれているイメージの中では「好きな有名人が出ている」（13.5%）、「手軽に見ることができる」（13.4%）が相対的に高い。

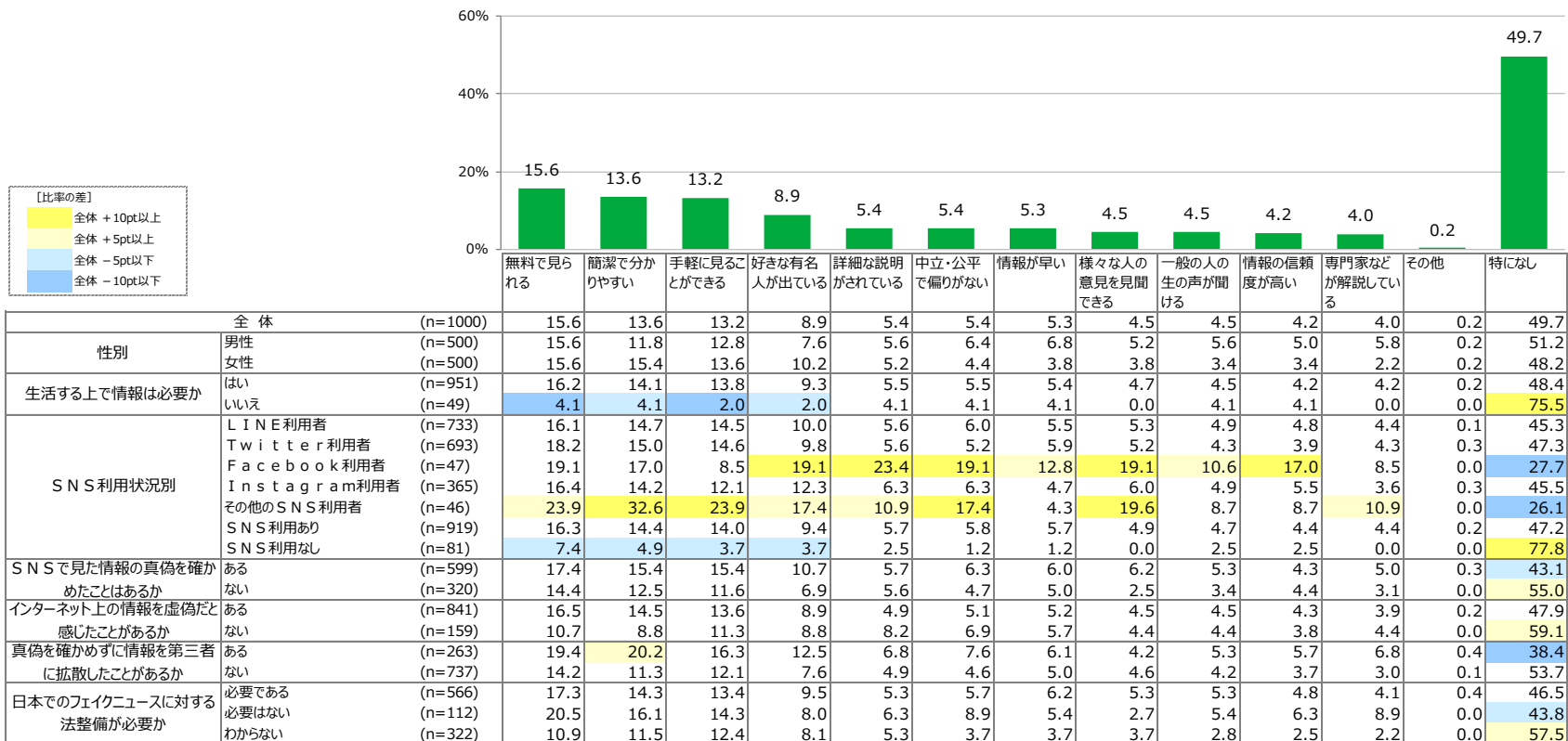
Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。（それぞれ複数回答）（n=1000）



# 情報源イメージ／広告・宣伝

- 約半数が「特になし」と回答。
- 持たれているイメージの中では、「無料で見られる」（15.6%）、「簡潔で分かりやすい」（13.6%）、「手軽に見ることができる」（13.2%）が上位にあがる。

Q それぞれの情報源に対するイメージを教えてください。（それぞれ複数回答）（n=1000）

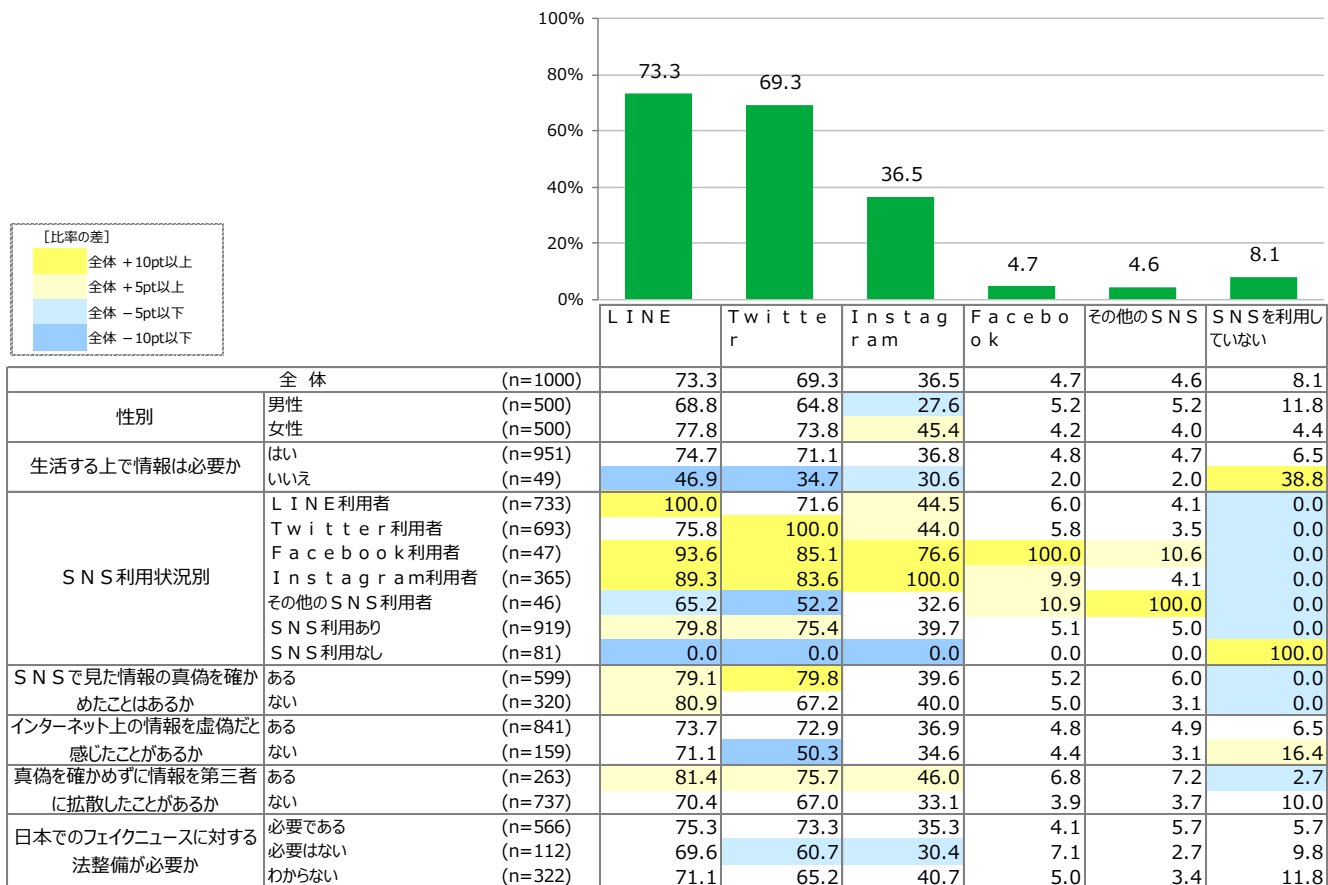




# 利用しているSNS

- 「LINE」(73.3%)、「Twitter」(69.3%)の2つが3位以下を大きく引き離す。
- 女性では「Instagram」が45.4%と、男性に比べて利用率が高い。
- また、Facebook利用者やInstagram利用者は、「LINE」や「Twitter」など他のSNSの併用率も高い。

Q あなたが普段、世の中の出来事(ニュースや報道)の情報を得るために利用しているSNSは以下のどれですか。(複数回答) (n=1000)

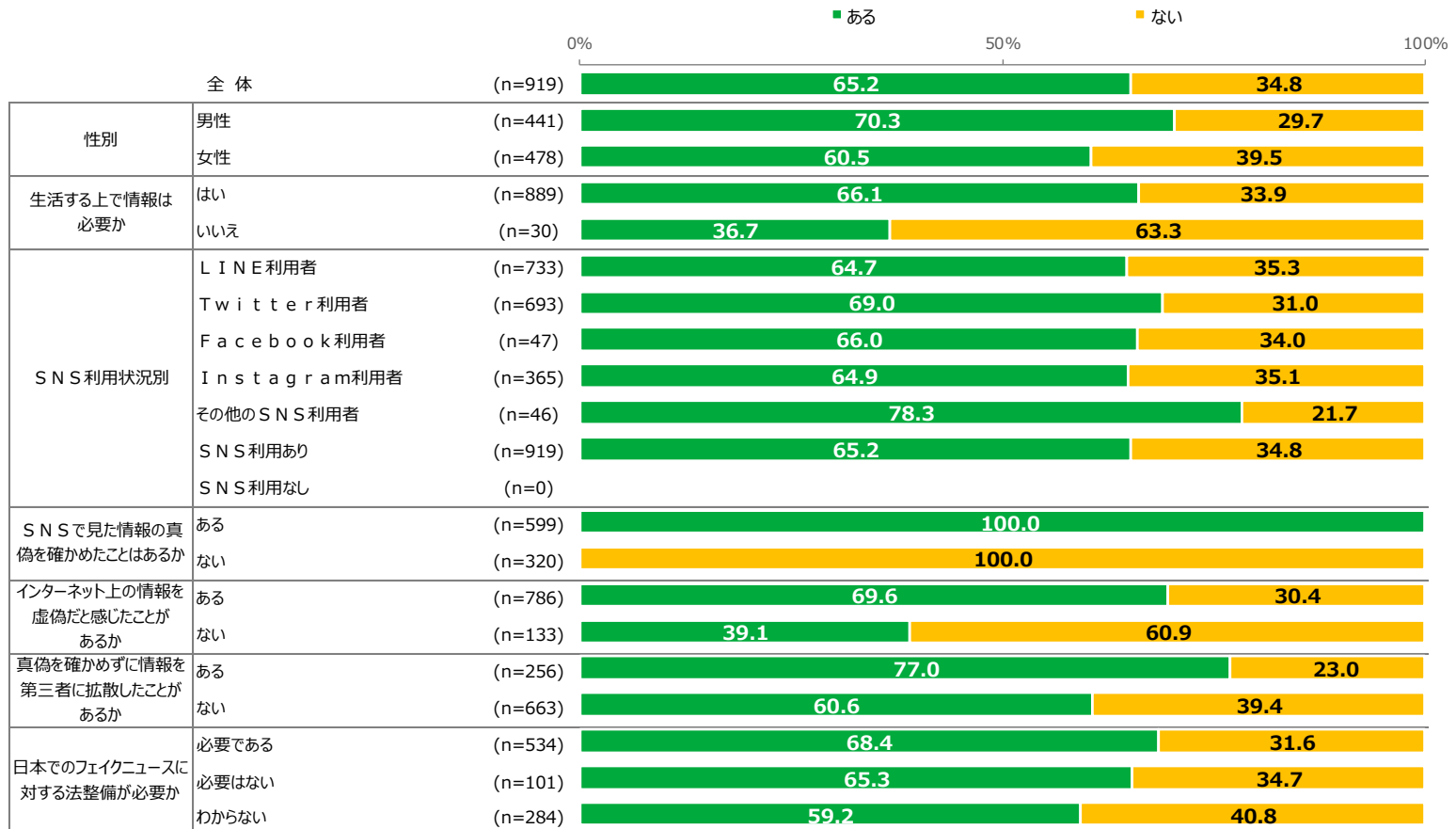


# SNSで見た情報の真偽を確かめたことがあるか

- 真偽を確かめたことがある人は、SNS利用者の65.2%。
- 男性の方が女性に比べて「ある」と回答した割合が多い。
- また、インターネット上の情報を虚偽だと感じたことがある層は、ない層に比べて真偽を確かめた率が高い。

## ■前問でいずれかのSNS選択者

Q SNSで見た情報の真偽を確かめたことはありますか。(n=919)



# SNSで見た情報の真偽を確かめた方法

- ・ 真偽を確かめた方法は、「インターネットで詳しく検索する」「Googleで検索」など、インターネットで調べたという内容が最も目立った。また、「色んな記事を見た」「インターネットや本といったその他いくつかのメディア」「テレビからの情報や複数のサイト比較」など、様々なメディアや記事を比べて真偽を確かめた、という回答も多くあがる。
- ・ それ以外にも、「人に聞いた」「テレビや新聞紙」「公式のサイトを見に行った」「実際に現場に行った」「Twitter」など、各々、様々な手段で確かめていることがわかった。

(前問：SNSで見た情報の真偽を確かめたことはありますか。)

Q 前問で「ある」と回答した方にお伺いいたします。どのような方法で真偽を確かめましたか。(自由回答抜粋) (n=599)

## インターネットで調べた

- ・ インターネットで詳しく検索する (男性)
- ・ インターネットで入念に調べた。(男性)
- ・ 複数のニュースサイトを調べたり電子掲示板から情報を集めたりで確かめた (女性)
- ・ ネットで他に記事もそのようなことを書いてあるか調べた (男性)
- ・ いろんなキーワードを入れ替えて調べた。(女性)
- ・ ネットで調べ直した (女性)
- ・ Googleで検索 (女性)
- ・ グーグル検索 信頼できる人間の発信した情報 (男性)
- ・ Yahoo (男性)
- ・ ブラウザ検索 (男性)

## 複数のサイトや、複数のメディアなどの情報を比較

- ・ Googleでひたすら検索をかけて、色んな記事を見て、自分の中で納得する真偽を確かめた。(女性)
- ・ インターネットや本といったその他いくつかのメディア (男性)
- ・ 複数のサイトを比較し信頼度を測った (男性)
- ・ できるだけ多くの他のサイトを見てみる (女性)
- ・ 発信元以外から情報を集める (男性)
- ・ 色んなものでそのニュースについて調べる (女性)
- ・ 様々な新聞の主張や意見を比べたりした (女性)
- ・ 他のサイト、他のTwitter、または本等で調べる (男性)
- ・ さまざまなメディアを見比べた (女性)
- ・ テレビからの情報や複数のサイト比較。周囲のSNSでの反応。(男性)

## 人に聞いた

- ・ 人に聞いた (女性)
- ・ 知っている人に聞いた (女性)
- ・ 自分で調べたり、人に聞いたりした (女性)
- ・ 詳しい人に聞く (女性)
- ・ 色々な人に聞く (女性)

## テレビや新聞で確認

- ・ NHKで確認 (男性)
- ・ テレビや新聞紙 (男性)
- ・ テレビなどのメディアの情報をチェックした (男性)
- ・ 新聞やニュースを隈なくチェックした (女性)
- ・ テレビのニュース (女性)

## 公式HPや公的な機関が発表している情報を調べる

- ・ 公的な機関が発表している情報を調べた。(男性)
- ・ 信頼できるサイト(官庁の公式サイト)などで確認した (女性)
- ・ 公式のサイトに見に行った (男性)
- ・ 複数のニュースサイトやソーシャルメディア、公的機関の出している信頼出来る情報などを調べた。(女性)
- ・ 実際にそのニュースが本当か公式サイトとか調べたりしてみた (女性)

## 実際に試す・現地へ行く

- ・ 実際に人に聞いたりその場所へ行った (男性)
- ・ 実際に見た情報を自宅で試した (男性)
- ・ 現地に行く実践する (女性)
- ・ ある事例について実際に検証したことがある (女性)
- ・ 実際に現場に行った (男性)

## SNS・口コミ

- ・ いろんな人のツイートを見る (女性)
- ・ Twitter (女性)
- ・ 口コミサイトを調べた。(女性)
- ・ リブの確認。ネットでの検索。友人への確認。(男性)
- ・ テレビからの情報や複数のサイト比較。周囲のSNSでの反応。(男性)

## 【情報の真偽を確かめた方法「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)

# SNSで見た情報の真偽を確かめなかった理由

- ・ 真偽を確かめなかった理由は、「面倒」という理由が多数を占め、自ら情報収集の手間や時間をかけたくないという心理がうかがえた。他にも「確認するほど興味のある内容ではなかったから」や「真偽を確かめる必要があるような情報を収集しているわけではないから」「重要な情報はTwitterで調べない」など、SNSの情報への関心の薄さや、SNSにはあまり重要な情報があがっていないという認識があることが見受けられる。
- ・ 「確認の手段がなかったから」など、どのような手段で真偽を確かめられるのかわからないという声もあがり、メディアリテラシー教育の必要性が感じられる。
- ・ また、「信憑性のあるニュースしか見てないから」など、信頼している情報だから確かめなかったという回答があがる一方、「そこまでSNSの情報は鵜呑みにしていないから」と、もともと信頼していないからこそ真偽を確かめなかった、という正反対の理由もあがった。

(前問：SNSで見た情報の真偽を確かめたことはありますか。)

Q 前問で「ない」と回答した方にお伺いいたします。確認しなかった方は理由をお書きください。(自由回答抜粋) (n=320)

## 面倒

- ・ 面倒だと思ったから (女性)
- ・ 面倒くさいから。(男性)

## そこまで興味はなかった

- ・ 確認するほど興味のある内容ではなかったから (女性)
- ・ 特に興味のないものばかりだったから (女性)
- ・ 嘘でも真実でも、どちらでも私には関係ない (男性)

## そこまで重要な情報ではない

- ・ それほど大事な事は読んでないし、確認とゆっても、せいぜいネットからの情報やし、当人じゃないから事実は分からない (女性)
- ・ そんな重要な情報はTwitterで調べないから。あくまで趣味の範囲。(男性)
- ・ 真偽を確かめる必要があるような情報を収集しているわけではないから。(女性)

## 確認する方法がわからない

- ・ 確認の手段がなかったから (女性)
- ・ 確認の仕方がわからなかった (女性)

## 信頼しているから

- ・ 信じてるから調べる意味が無い (女性)
- ・ 信憑性のあるニュースしか見てないから (女性)
- ・ 間違っていないと思ったから。(男性)

## もともと信頼していないから

- ・ 特にしんじている訳でもないのだから確かめる必要がない (女性)
- ・ そこまでSNSの情報は鵜呑みにしていないから (女性)
- ・ 別にあまり信頼していないから、結局はテレビで見たものしか信じないため。(女性)

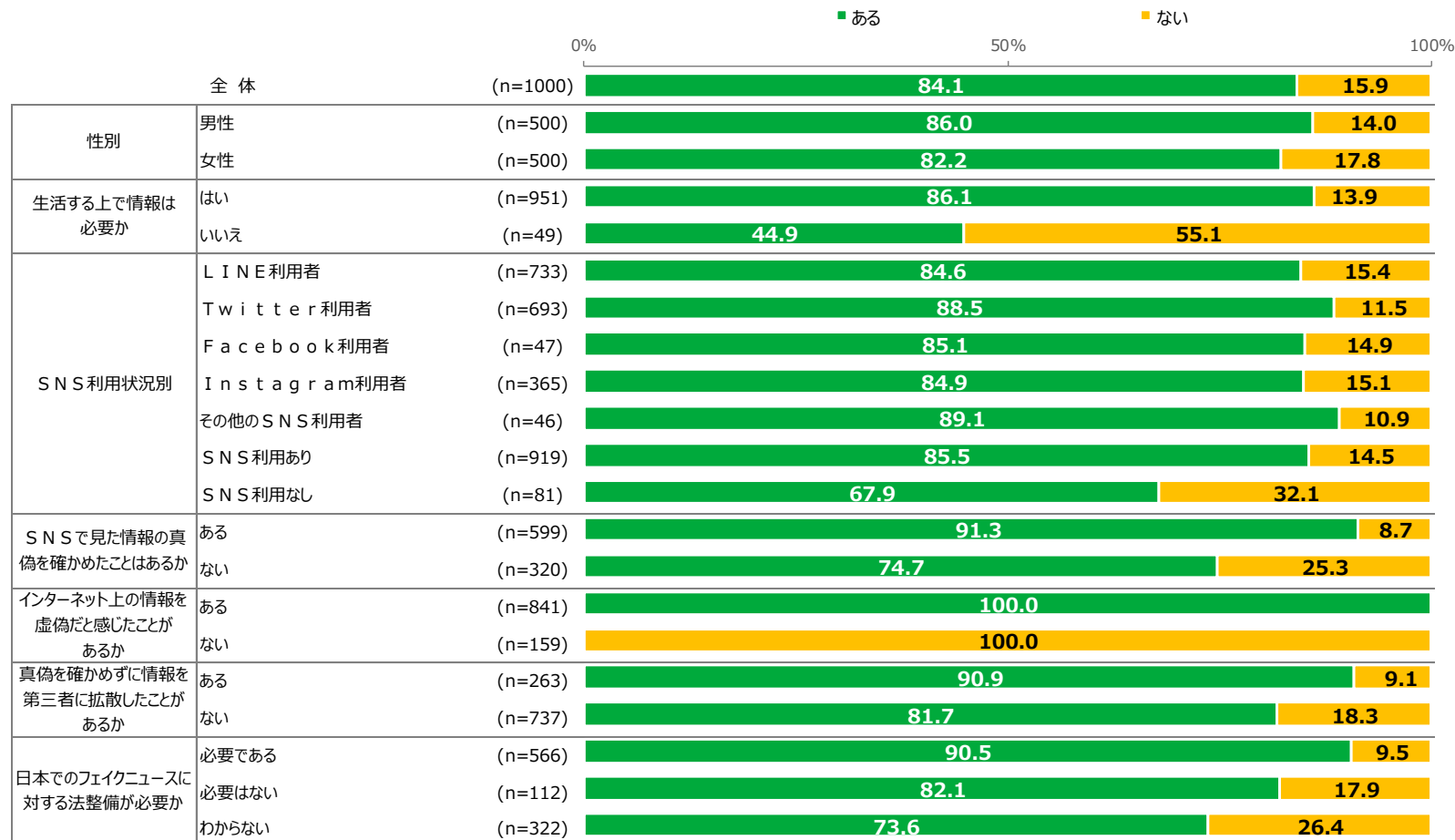
## 【情報の真偽を確かめなかった理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)

# インターネット上の情報を虚偽だと感じたことがあるか

- 全体の84.1%がインターネット上の情報を虚偽だと感じたことがある。

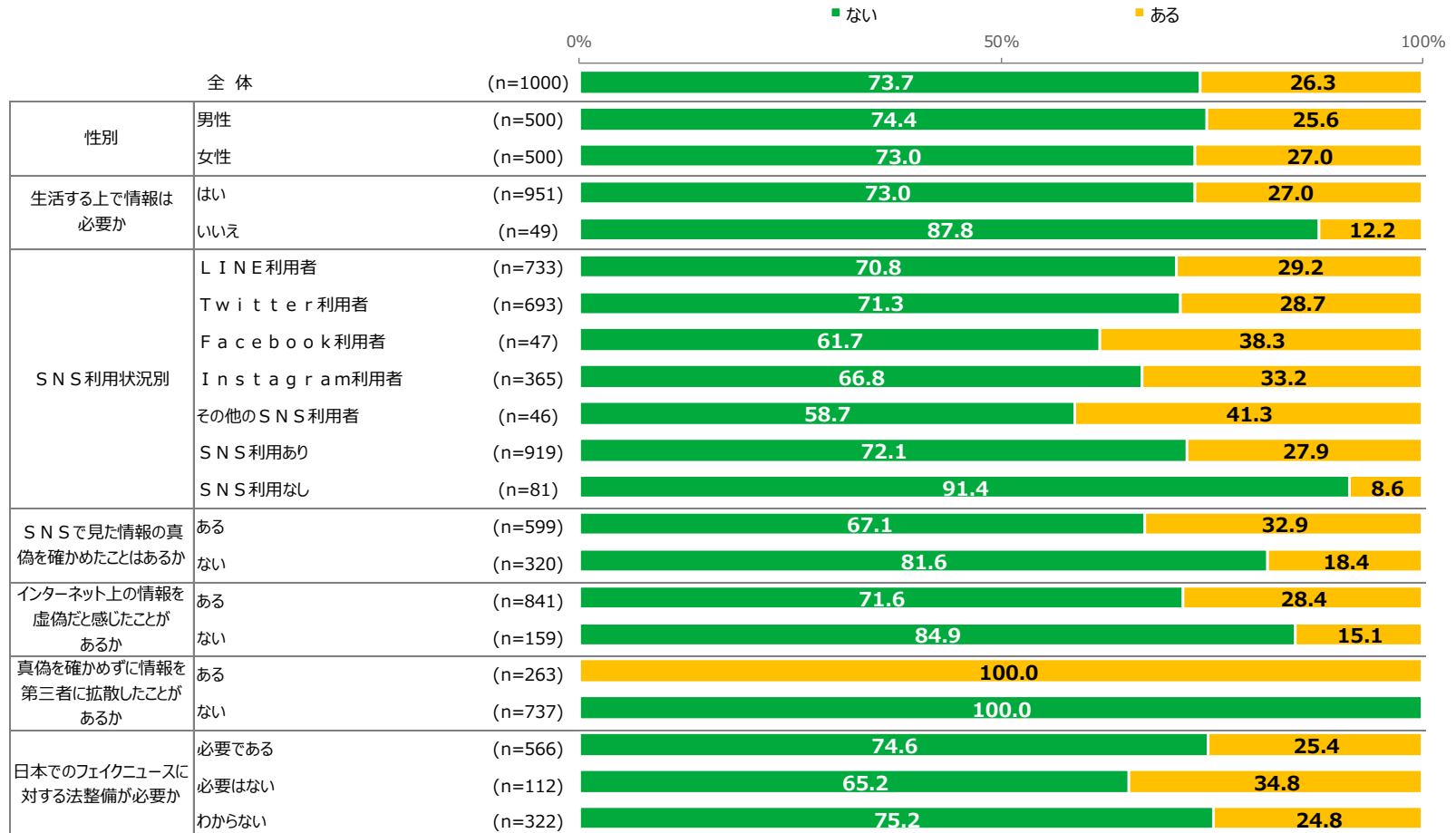
Q インターネット上の情報を虚偽だと感じたことがありますか。(n=1000)



# 真偽を確かめずに情報を拡散したことがあるか

- 真偽を確かめずに第三者に拡散してしまった経験について、73.7%の人は「ない」と回答。
- 拡散経験がある人は、26.3%。

Q 真偽を確かめずに情報を第三者に拡散したことがありますか。(n=1000)



# 真偽を確かめずに情報を拡散した理由

- ・ 真偽を確かめずに情報を拡散した理由は、「信憑性のある情報だと感じた」など、その情報を真実と思い込んでしまったという理由が目立った。他、「人に話さずにはいられなかった」「面白そうな内容だった」など、他の人に共有したい内容であったという理由や、「人助け」「拡散して手助けしたいと思った」など、善意から拡散するべきだと考えたという声も多くあがる。
- ・ それ以外では、さほど重要ではなく虚偽でも周囲への影響が低い情報であったという理由や、早く周囲に伝えたい内容であったという理由が見られた。また、深い考えもなく情報を拡散してしまった人も。
- ・ 他、「ホントかどうかは分からないという前置きを置いてから」と、虚偽である可能性も示唆した上で情報を伝えたという回答や、その情報の真偽を確認するために拡散した、という回答もあがった。

(前問：真偽を確かめずに情報を第三者に拡散したことがありますか。)

Q 前問で「ある」と回答した方にお伺いいたします。その理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (n=263)

## 真実だと思い込んでいた

- ・ あまりにもちゃんとした説明だったので本当だと思い、他の人はまだ知らないと思い、自慢げに話した。後に嘘だと知り、訂正した。(女性)
- ・ 真実だと信じ込んでいた(男性)
- ・ ネットの情報を見て正しいと判断してしまったから(女性)
- ・ 有名な人が宣伝していたから(女性)
- ・ そこにある情報が真実だと思って疑わなかった(男性)
- ・ 真偽を確かめる必要のないくらい信憑性のある情報だと感じたから(男性)
- ・ 嘘とは思えなかったから(女性)
- ・ 話した時は真実であると思い虚偽だとは思っていなかったため(女性)
- ・ 複数の人間が同じ話をしていたから。(男性)

## 誰かに言いたかった・面白い話題だったから

- ・ その情報を他の人に伝えたかったから。(女性)
- ・ とても驚いたことをすぐに言ってしまった(男性)
- ・ 面白いと思ったから。(女性)
- ・ おもしろそうなネタだったから(男性)
- ・ 興奮してしまって冷静な判断ができなかったから。(女性)
- ・ 衝撃的で人に話さずにはいられなかったから。(女性)
- ・ 真偽が分からなかったが言いたかったので広めてしまった。(女性)
- ・ おもしろかった、確かめるという考えはなかった(女性)
- ・ 面白そうな内容だったため、真偽にかかわらず第三者に拡散した(男性)

## 拡散した方が良かったから

- ・ 本当のことだと思い、困っている人を助けないと思い拡散した(女性)
- ・ 台風がきたってという情報だったので、伝えて損はないから(女性)
- ・ ペット探し等で拡散して手助けしたいと思ったから(女性)
- ・ 拡散すれば人助けになると思ったから(男性)

## それほど重要な情報ではなかったから

- ・ 虚偽でも他の人に迷惑がかかる内容ではなかったから(男性)
- ・ それが確かでもそうでなくても、他人にあまり影響のないような情報しか伝えてないから。(女性)
- ・ そこまで重要な情報ではなかったから(女性)
- ・ それが確かでもそうでなくても、他人にあまり影響のないような情報しか伝えてないから。(女性)
- ・ その情報が合っても間違っても問題にならず、話のネタになるものであったから。(男性)

## 早く伝えたかったから

- ・ 早く伝えたかったから(男性)
- ・ 真偽を確かめるよりも前に、その情報を誰かに伝えたいという気持ちになったため。(女性)
- ・ 本当だと思った、すぐに知らせたいと思ったから(女性)
- ・ びつくりすぎて早くみんなに伝えたかったから(女性)
- ・ 早く広めたいとおもったから(男性)

## 特に考えていなかった

- ・ 特に深い考えはない(女性)
- ・ その時の感情で広めてしまった。(女性)
- ・ 何も考えていなかった(女性)
- ・ あまり深く考えずに流してしまった(女性)

## その他

- ・ 確かめるまでも無い情報だったから例え拡散した情報が偽であっても、そもそも真偽を確かめるのは個々人がすべき事で自分に責任は無いから自分に影響力は無いから(女性)
- ・ 本当かわからないけど、～らしいという話をした(女性)
- ・ ホントかどうかは分からないという前置きを置いてから信頼出来る友人にのみ(男性)
- ・ 自分では確かめることができないから拡散するとともにその相手に真偽を問うのも兼ねることができるから(女性)
- ・ その人も知っているか確認し、あっているか聞きたかった(女性)

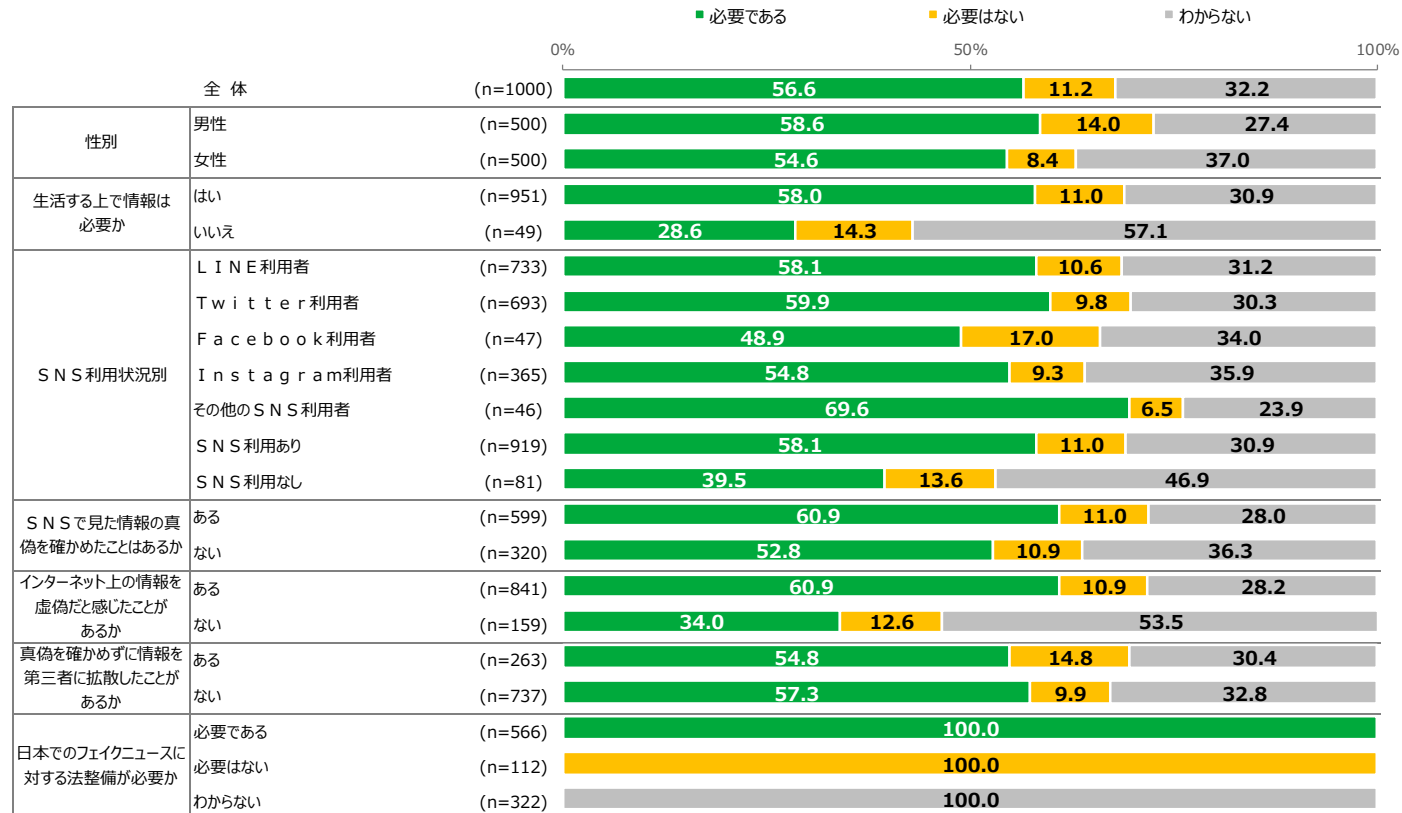
## 【真偽を確かめずに情報を拡散した理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)

# フェイクニュースに対する法整備は必要か

- フェイクニュースに対する法整備は、56.6%が「必要である」と回答。「必要はない」（11.2%）を上回った。
- 生活する上で情報は必要ないと回答した層やSNS非利用者など、情報感度が低い層は「わからない」という回答が多い。
- また、インターネット上の情報を虚偽だと感じたことがない層も、「わからない」が過半数。

Q 近年、諸外国では、フェイクニュース（虚偽報道）に対する様々な法整備が進められています。一方で、法整備が進められることで言論・表現の自由が脅かされるという懸念の声もあがっています。日本でも何らかの法整備が必要と思いますか。（n=1000）





# フェイクニュースに対する法整備について回答理由

- ・法整備が必要であると思う理由は、「虚偽の報道で人権が侵害されることもある」「社会が混乱したり、風評被害が起こりうる」など、フェイクニュースにより被害を受けてしまう人の為に罰則が必要という意見が多くあがる。そして、「言論、表現の自由にも限度がある」「表現の自由を振りかざして、間違っただけで多くの人を混乱させる人や誰かを傷つける人がいる」など、その自由のために、社会が混乱したり、誰かが被害を被ることがあってはいけないという声も。

(前問：日本でも何らかの法整備が必要と思いますか。)

Q 前問でお答えになった理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (必要である：n=566)

## 「必要である」選択理由

- ・虚偽のニュースや報道により、傷付いた人も実際にいるから。(男性)
- ・言論、表現の自由にも限度があるから(男性)
- ・フェイクニュースや誹謗中傷によって、言論・表現の自由が脅かされているので、法整備はどちらかというところを守る事だから。(男性)
- ・フェイクニュースで精神的被害をおう人も少なからずいると思うから。(女性)
- ・情報の無責任な拡散が起こってはならないから(男性)
- ・嘘の情報を流す事で、混乱が起きたり、迷惑になる事もあるから。(女性)
- ・フェイクニュースが真実だと信じられ、一般の人々が間違っただけで行動を起こしてしまうことは防ぐべきだから。(女性)
- ・本当のような嘘を拡散して楽しんでいる人がいるから、そのような人を法という名の元で裁いて欲しい。(女性)
- ・災害時にデマが拡散して混乱するような事態が既に何度か起こっているから(女性)
- ・明らかな虚偽に対抗するためには必要であり、言論・表現の自由には責任が伴うということを認識させるためには必要だと考えるから。(男性)
- ・嘘を広めることと言論の自由は無関係だと思うから(女性)
- ・自由と言ってもいい事と悪い事がある(女性)
- ・虚偽の報道で人権が侵害されることもあるので、罰則が必要だと思う。(女性)
- ・事実無根の情報を広められると社会が混乱したり、風評被害が起こりうるから。(女性)
- ・フェイクニュースは存在しない事をあたかも本当かのように報道し人を傷つけるのなら法整備は必要だと思う、フェイクニュースに言論、表現の自由という言葉は適していないと思う(女性)
- ・言論の自由の保護を理由に個人の名誉が毀損されるようではいけないから(男性)
- ・日本は特に、匿名性という陰に隠れて人からの共感欲しさに簡単にネット上で嘘をついてしまう傾向があると思っているから。(女性)
- ・表現の自由を振りかざして、間違っただけで多くの人を混乱させる人や誰かを傷つける人がいるため。(女性)
- ・法整備をする事によって、騙される人の人数も少しは減ると思うから。(女性)

## 【フェイクニュースに対する法整備について回答理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)

# フェイクニュースに対する法整備について回答理由

- ・ 法整備の必要はない理由は、「自分でその情報の真偽を確かめることも必要な能力」「ネットリテラシーを教育すれば良い」「自分自身で調べることが必要」など、自ら調べて判断する力を身に着けるべきという意見や、「言論の自由が脅かされかねない」「情報規制がされてしまう」などの心配の声があがった。
- ・ 「わからない」の理由は、「詳しくない」「実態をあまり把握していない」という回答の他、「賛否両論ある」「言論の自由まで侵されるのはおかしいが、嘘が広まるのもよくないと思う」など、どちらの立場も理解できるという理由があがる。また、「フェイクニュースを規制する法律もありだけど…ニュースに対して、1つのミスも許されない社会もどうかと思う」という意見も。

(前問：日本でも何らかの法整備が必要と思いますか。)

Q 前問でお答えになった理由をご記載ください。(自由回答抜粋) (必要はない：n=112、わからない：n=322)

## 「必要はない」選択理由

- ・ 自分でその情報の真偽を確かめることも必要な能力だと思うから (男性)
- ・ 言論の自由が脅かされかねない。(男性)
- ・ 自分に必要な情報を適宜取捨選択すればいいから。真実を知ろうと自分から動くことが大切で、与えられたものを全て信じているようでは依存した生活しか送れないから。(女性)
- ・ 言論、表現の自由が脅かされてしまうのは良いことはないと思ったから。ただ、法整備でもしないとどうにもならない状況であるのなら、しても仕方ないと思う。(女性)
- ・ 情報の発信について取り締まるのは限界があると思うから。(女性)
- ・ 各々できちんと判断を行えば何の問題も無く、それが行えずにフェイクニュースに翻弄される人間に問題があると思うから。(女性)
- ・ どうやって嘘かどうかを確かめるのがわからないのと、本当のことを隠されたりしうだから (女性)
- ・ 法を整備しても抜け穴を利用されると思うから (男性)
- ・ 言論の自由が必要だから。(男性)
- ・ 嘘が本物が判別しづらいものもあると思うから (女性)
- ・ 法律までは使う必要はないと思うから。(女性)
- ・ 情報規制がされてしまう (男性)
- ・ ネットリテラシーを教育すれば良いから (男性)
- ・ 結局判断する人間が考えるというプロセスがなければいざとなったときに対応ができなくなるから (男性)
- ・ 言論、表現の自由を守るため (男性)
- ・ 法を整備してもフェイクニュースは消えることはないと考えているから。結局は自分自身で調べる事が重要だと思う。(男性)

## 「わからない」選択理由

- ・ わからないから (女性)
- ・ 詳しくないので (男性)
- ・ 日本におけるフェイクニュースの実態をあまり把握していないから。(男性)
- ・ 誰がどう判断するのが疑問だから (女性)
- ・ 法整備がどこまで有効か分からない (男性)
- ・ 賛否両論どちらもあるから (女性)
- ・ フェイクニュースは良くないし、もしかしたら大きな混乱を招くかもしれないけど、それによって表現の自由が失われてしまうのも困るからどちらが良いのか分からない (女性)
- ・ 法律で縛っても誤報と言ってしまうば逃れられる気がするから (男性)
- ・ フェイクニュースを規制する法律もありだけど、勘違いで流した情報がフェイクニュースだと捉えられるかもしれない。ニュースに対して、1つのミスも許されない社会も、どうかと思う (男性)
- ・ 規制はある程度必要かもしれないけれど、程度がわからないから。(女性)
- ・ 情報の伝達にミスや勘違いもあるので言論の自由まで侵されるのはおかしいが、嘘が広まるのもよくないと思うから (女性)

## 【フェイクニュースに対する法整備について回答理由「自由回答集」】

日本財団公式webサイトに掲載 [https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen\\_survey/](https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/eighteen_survey/)